

2023年2月1日(水)9:00～CRTスタジオで収録

「都立高校・県立高校、受験直前の、効果の上がる学習方法」を考える

開倫塾

塾長 林明夫

1. <はじめに>

- (1) いよいよ、都立高校・県立高校の入試直前となりました。
- (2) そこで、今日、2月4日の、CRT ラジオ栃木放送、「開倫塾の時間」では、「都立高校・県立高校、受験直前の、効果の上がる学習方法」を、皆様とご一緒に考えたく存じます。
- (3) ポイントを絞ってお話いたします。

2. (1) 「受験生としての自覚」をもって、「受験勉強に専念」すること。

- ①自分は「受験生であると、自分自身に言い聞かせ」
- ②「一心不乱」に「受験勉強に専念」
- ③「学校の授業のある日は、1日8時間」「学校の授業のない日は、1日12時間」、「受験勉強に専念」すること。
 - 「塾の授業のある日も、授業のない日も、毎日、午後から、夜10時30分まで、開倫塾で、自学自習すること」
- (2) ①「学校の教科書」「開倫塾の教材」は、「すべて、声を出し、スラスラよく読めるようになるまで、音読練習。スミからスミまで、全部覚える」
 - ②「大切な語句は、楷書で正確に書けるようになるまで、書き順も含め、書き取り練習。大切な語句や、定義は、暗記（何も見ないで書けるまでにこと）」
 - ③「今までに解いた計算・問題で、間違えたものを、何回も解き直し、できるようにすること」
- (3) ①全教科、問題文の分量が、長文化する傾向にあります。
 - ②大量の分量の問題文が出題されても、最後まで読み終え、正解を導けるよう「読解力」を試験当日まで身に着ける。
 - ③「辞書・新聞・読書」に試験当日まで親しむ。
 - ・意味の分からない言葉があったら、気持ちが悪いと思い、辞書を用いて調べる。
 - ・新聞を、毎日、30分以上、1面から、声を出し読み続ける。
 - ・1日、1時間以上、読書。以上を、
 - 以上を、この受験勉強をきっかけに、「学習習慣」とする。

3. (1) 不安で、大変なのは、受験生、全員。受験生は、悩まないこと。

- (2) 悩む時間があったら、受験勉強に専念すること。
- (3) 「悩む時間は30分まで」と決めること。
 - 受験勉強を支えてくださる皆さんに、感謝の心をもって、受験を行うこと。
頑張ってくださいね。